

お題「記憶」(互選) 数字は投票数 投票者付記

3 記憶などないがスナックだけは寄る ちさと

哲子 えいじ 広子

若い日の夫の写真にほくそ笑む 広子

健一 乃り子 基弘

4 何だったあつそれぞれで解りあう 乃り子

英二 ひよこ 郁子

忘れないしたことよりもされたこと 健一

アキラ きよな 広子 乃り子

記憶力あれば政治家務まらぬ アキラ

幸男 基弘 郁子

都合よいことだけ記憶高笑い ちさと

英二 きよな 広子 哲子

5 ていねいに今日の記憶を折りたたむ よう子

哲子 幸男 郁子

昔の記憶つなぎ合わせるクラス会 博文

英二 〇 えいじ 幸男 基弘

パソコンに慣れて漢字が手で書けぬ アキラ

乃り子 〇 基弘 〇 ミチ

もの忘れたどる記憶も又忘れ よう子

哲子 きよな 幸男 健一 〇

夫婦して記念日忘れ笑う夜 健一

英二 えいじ 広子 ミチ 〇

僕背負う昭和の母は割烹着 英二

えいじ 〇 健一 基弘 ひよこ

9 秀 頑張ろう孫の記憶に残るまで 英二

アキラ 〇 きよな 〇 広子 〇 基弘

ひよこ 郁子

お題「散歩」(連記) 森里えいじ選

散歩終え今日のノルマは済みました 博文

夜明け前月がお供の散歩道 基弘

今はまだ完治してから谷むこう ミチ

健康寿命先へ先へと歩数計 郁子

転ばぬよう二人で励む朝散歩 哲子

杖をつく母と散歩の日々だった 千楽

オシヤレして花や犬見て七千歩 健一

散歩仲間雀友となりのみ仲間 乃り子

歩けぬが心の若さ持っている 幸男

秋風と仲よしになる散歩道 よう子

出は一緒帰りは別の散歩道 ひよこ

散策と言って迷路のどんづまり 正清

散歩道あいさつ交わし友出来る 登美

花の香を求め寄り道三千歩 英二

健康になると信じて歩く今日 きよな

目的の無い散歩の出来ぬ習い性 広子

散歩道妻はマーチでぼくワルツ アキラ

秀 おーい雲連れて散歩としゃれてみる ちさと

軸 体にいい散歩に行くと喫茶店 えいじ

お題「飛ぶ」原 広子選

飛びあがるほどにうれしい虎のファン ひよこ

視察行くビジネスクラス無駄使い ひよこ

ガザの空つばさ欲しいと見上げてる 英二

万博が後押し空を飛ぶクルマ 郁子

真つすぐの希望をのせて飛行雲 ちさと

飛ぶボール飛ぶドライバーあとは技 健一

悪しき事うわさ話の飛ぶ早さ 登美

古里へ帰る燕の初飛行 基弘

ここだけの内緒ばなしが飛んでゆく 哲子

秋深し飛んで消えます休肝日 博文

思いきり飛んだつもりが腕の中 哲子

飢える民よそこにミサイル撃ちまくる 千楽

飛んでみて初めてわかる身の重さ 基弘

有り余る平和に慣れて飛べぬハト アキラ

秀 赤とんぼ後ろめたさのある平和 英二

軸 身の丈を知らずに飛んだ水たまり 広子

お題「ひそひそ」(共選) 小妻健一選

聞こえるか聞こえないかの名人芸 英二

おばちゃんに寄れば手招き内緒やで 乃り子

個の音が広く膨らみ町動く 哲子

ひそひそに良い話なし人の口 登美

幼子と顔くつつけてないしよやで きよな

ひそひそがどんだん膨れ足が生え きよな

まことしやかに耳うちのあと知らんけど 広子

筒抜けて嫌な思い出寮住い 幸男

補聴器は内緒話をすべて聞き 幸男

幼子のひそひそ話可愛いな ひよこ

映画館ひそひそ声が邪魔をする 郁子

ひそひそと故人を忍ぶ通夜の席 登美

ひそひそが渦まいている異動時期 えいじ

悪口は聞こえてないよ聞こえてる 哲子

秀 パレスチナ支持と小さな声で言う 英二

軸 ここだけの話のはずが皆知り 健一

お題「ひそひそ」(共選) 八木哲子選

ひそひそと故人を忍ぶ通夜の席 登美

ブランドを脱いでひそひそネイキッド 正清

幼子と顔くつつけてないしよやで きよな

まことしやかに耳うちのあと知らんけど 広子

ささやきを感じる秋の風が好き よう子

更衣室人事情報みだれ飛び 健一

パレスチナ支持と小さな声で言う 英二

聞こえるか聞こえないかの名人芸 英二

妄想のひそひそがゆく午前二時 ちさと

ひそひそがどんだん膨れ足が生え きよな

プーチンの内緒話はプーさんと 広子

おばちゃんが寄れば手招き内緒やで 乃り子

息子たちヒソヒソ還暦祝いだ 千楽

戦争を始めた人の顔浮かぶ ひよこ

秀 補聴器は内緒話をすべて聞き 幸男

軸 個の声が広く膨らみ町動く 哲子

自由吟 野々村アキラ選

説教し人道言わぬ神さんだ 千楽

これ最後同期会から知らせあり

新品が出るたび旧はゴミになり 基弘

高いなあ猛暑の後の電気代

今日も又バス停掃除老夫婦 博文

記憶ない逃げ言葉です政治家の

吊いを家族のものにしたコロナ 義雄

目をこすり目玉を探す物価高

中国産ウナギに罪はないのだが 乃り子

オレオレ詐欺孫とダブって説教す

古い水着からこぼれる欲の砂 ちさと

介護してにっこり仮面つけておく

のど自慢フリと衣装はフルマーク 健一

大関の期待外れの変化技

満月を横切っている観覧車 郁子

足踏んだ側には分からない痛み

風の音陽の足音も冬を向く よう子

補聴器が値上がりの音とらえてる

せせらぎが石丸くして大河なる 正清

足るを知り枯れ山水と月の雨

年近い従姉妹とつきあい三つから ひよこ

植木鉢庭断捨離でさようなら

一日の何割だろうさがし物 ミチ

名詞出ず会話止まってもどかしい

にっこりと今に見ておれ腹の内 登美

十七音たった二文字で抗議受け

キンモクセイにはしゃいだ孫もゲーム狂 広子

いい予感黄色金色朝のお茶

来年の孫の祝いは将棋盤 英二

看護婦に指図されてる若い医者

七十五才一兵卒が性に合う えいじ

ひらひらと孫の数だけ消えてゆく

急ぎ足秋が訪れ慌ててる 哲子

法要の散華まう空東大寺

おもたせと言いつつ食べる旬の味 きよな

旨いお茶急須の中でゆるり舞う

丁寧生きてよろこび探しだす アキラ

息抜きして生き抜くのだとご住職

勉強会 お題「迷う」

☆何を着て行こうか迷う墓参り ひよこ

☆この兆候風邪かコロナかインフルか 郁子

☆買物に迷いに迷う妻を待つ 博文

ばらまきも何処から出すか迷う金 基弘

大阪駅時計広場で待ち合わせ えいじ

大谷は目標目指しまっしぐら 健一

梅田出て迷子のようにキョロキョロと ひよこ

推薦十句 田中 薫選 句会結果掲載順  
忘れないしたことよりもされたこと 健 一  
頑張ろう孫の記憶に残るまで 英 二  
散歩終え今日のノルマは済みました 博文  
散歩仲間雀友となりのみ仲間 乃り子  
飛ぶボール飛ぶドライバーあとは技 健 一  
ひそひそが渦まいている異動時期 えいじ  
ささやきを感じる秋の風が好き よう子  
満月を横切っている観覧車 郁子  
来年の孫の祝いは将棋盤 英 二  
何を着て行こうか迷う墓参り ひよこ

奈良番傘川柳会 会長田中 薫

「川柳よもやま話」 十一月六日(月)十三時～  
いきいきホール一階カフェ  
\*雑談会です ご希望の方は参加してください

十一月勉強会 十一月九日(木)十三時～  
いきいきホール一階 お題「目立つ」二句  
前日までに事前投句 十月句会結果持参下さい

十一月誌上句会 十一月二十日(月)十七時締め  
「池」(連記) 基弘 「触れる」きよな  
「永久」義雄 「どきどき」(共選) 郁子 幸男  
自由吟 アキラ 各二句  
アキラまでメール又は封書で投句

日頃思うことを、五七五で詠んでいます。

新入会員歓迎 新会員向け勉強会実施中

入会金不要 月会費百円

お問い合わせ

\*お電話ください資料持参します

原 広子 79・0061  
野々村アキラ 090・6961・1292